

令和 5 年度

第 2 回

自己評価委員会報告書

於：令和 6 年 2 月

学校法人長野県理容美容学園

松本理容美容専門学校

自己評価委員会報告書

日 時：令和6年2月14日（水） 10：30～12：30

場 所：松本理容美容専門学校 会議室

出席者名：（学園）長尾理事長・嶋村副理事長・吉川事務主事・桐山事務局長

（学校）小原校長・小口教務主任

長尾理事長挨拶

自己評価委員会の認定校になってからの両校の教職員レベルが向上してきていると感じている。

年々自己評価の内容・中身が濃くなっている。

自己評価委員会をやる意味として、今後の学校運営に必要な機会である。

【審議検討事項】

1. 令和5年度自己点検・自己評価について

令和5年度報告として、教育理念の2項目・学校運営の3項目・教育活動の4項目・学修成果の3項目・学生支援5項目・教育環境の1項目・学生募集と受け入れ2項目・法令等遵守の2項目について、評価4について継続的に向上した部分を報告し、今まで以上により内容の濃いものにしていく必要がある。

各項目一つずつ細かく評価できていることが、次へと繋がっていくのでは。今後第三者評価という形式になった場合においても、大丈夫な体制が整っているのでは。

公平な評価を今後も継続していくべきである。

- ・基準2：パンフレット・HP内容について、希望があれば提案してほしい
学生情報管理システムの構築について、3月学園研修にて意見を出し合い、6月校長主任会にて検討していく
- ・基準4：サービス接遇検定合格率について、入学時に学費として集金している学校推奨の検定のため100%でなければならない。授業内容・講師についてきちんと検討して欲しい
- ・基準5：カウンセリングの在り方について、生徒たちにとって意味のある機会であるため有効活用していけるよう方法を検討していく
- ・基準6：実務実習の効果は非常に生徒たちにとって成長の機会となっている
- ・基準7：学生募集の厳しさを感じている。より一層工夫し現状より増加していくよう方策を工夫しあきらめずに学校の魅力を伝え、学生募集に力を入れていく

2. 令和5年度重点目標について

(1) 令和5年度重点目標の実施状況の報告

重点目標① アフターコロナを見据えた、新たな日常の構築

○コロナ禍で停滞した雰囲気を変えていく

○コロナ禍3年間の高校生活を過ごした、新入生の意見や感想に耳を傾ける。

○内規に沿った生活指導や学習指導の共通理解を再確認して、継続指導を行うこと、変更事項が必要なことを精査して「校長主任会への提案を行う」

*年間の反省

- ・4月当初から学校全体に落ち着きが見られ、主体性を持った挨拶、発言ができる生徒が目立つ。精神面で問題を抱える生徒もいるが、個々の対応や家庭連絡を密にして概ね担任把握ができています。
- ・1学期に計画されていた授業計画、行事計画が滞りなく進めることができています。
- ・教職員の意見を取り入れながら、内規の変更案に取り組んでいる。

重点目標② 生徒指導の充実

○多様化する生徒個々の思いに向き合うと共に、教職員全員がチームとなって情報共有を行いながら、生徒指導の充実を図る。

○個々の教師における、得意分野と苦手分野に理解を深めて、協力し合う組織を目指す。

年間の反省

- ・理容科、美容科に新任教師が就任して教職員の協力体制が整えられている。
- ・教職員研修、教科研修会を推進することで、個々の指導力の向上に繋がっている。
- ・資格試験、国家試験の指導を教科の講師と共に協力しながら進めることができています。
- ・内規に沿って、生徒指導、保護者連絡、保護者面談を実施することで、個々の生徒の事情に合わせた指導に繋がっている。

重点目標③ 学生募集から就職指導の一貫指導

○令和5年度入学生希望者を対象とした「オンライン出願」への整備と周知を進める。

○就職指導を生活指導の延長ととらえ、就職部からの情報収集を行い、クラス担任が主体となって内定まで指導を続ける。

年間の反省

- ・6月の高校進路懇談会では6校から進路担当の先生方に来校していただき、美容学校の説明と在校生との懇談機会により、美容学校への理解を深めていただく機会となった。
- ・アフターコロナとなった現状で、県外就職内定の状況も比率が高まる傾向と共に、県外美容学校（東京、愛知、新潟、山梨）による県内高校説明会への参加頻度も高まっている。県内2校となる地元美容学校進学の特長をオープンキャンパス、説明会にて強調していく。

今後、重点目標並びに課題についても、結果を出していき、令和6年度へとつなげていく。

引き続き継続できるよう向上していき、学校教育の質を上げていってほしい。

より良い学校にするべく努力していく。

(2) 令和6年度重点目標

① 教職員の協力体制による指導力の向上

- ・クラス担任による指導を主としながらも、学年全体で個々の生徒に向き合えるように指導内容を共有していく。
- ・学年全体で新任教員の育成に関わりながら、自らも指導方法の改善に努める。

② 教師と講師との連携強化

- ・嘱託講師との連携を強化して、授業への取り組みを向上させていく。
- ・嘱託講師の授業内容、授業計画を把握して、自らも学ぶ姿勢で関わっていく。

③ 教師と生徒との距離感を意識する

- ・初めと終わりを意識して、本時の導入とまとめを明確にしていく。
- ・個々の生徒に対して見落としの無い、平等な指示と評価を心掛ける。

3. 学校関係者評価委員会より報告

- ・令和5年度自己評価中間報告
- ・令和5年度重点目標の実施中間報告・課題の説明

① 各行事における生徒達成感をもたせる②生徒指導の充実③学生募集から就職指導の一貫指導

- ・学校関係者評価委員より提言 各項目・重点目標について

以上が、学校関係者評価委員会にて検討した事項の報告

学校関係者評価委員の報告が、第三者評価になっていくので、今後活かしていく。

4. 教育課程編成委員会より報告

- ・令和5年度自己評価中間報告
- ・令和5年度重点目標の振り返り
- ・令和4年度 就職状況
- ・委員からの提案

以上が、教育課程編成委員会にて検討した事項の報告

5. 次回 第1回自己評価委員会 令和6年7月23日(火) 10:30～(松本校)

令和6年度 自己評価中間報告

令和6年度 重点目標中間報告